

## 松戸市障害者地域包括ケアネットワークの活動

## 【事業計画】

地域包括ケアシステムの構築に向けて関係機関・団体等の連携を推進するための方策の関する意見交換・情報共有等を行う。

令和元年度 テーマ「医療と福祉の連携について」

## 【活動実績】

## (1) 会議開催状況

(ア) 全体会 年に2回(7月・1月)開催

- ・地域包括ケアネットワーク事業について(報告)

(イ) 部会会議 毎月第2木曜日に開催(全5回・残り2回開催予定)

テーマを基に活動内容を検討

- ・医療を必要とする人向けのハンドブック作成をしたい。

：前年度の地域生活支援部会の活動から抽出された課題が「知的・発達・精神等のコミュニケーション障害がある方は自立支援医療(精神通院)の対象で精神療法や薬物療法を受けており、通院や服薬等複数の問題を抱えている」ということであった

：対象者＝ 相談支援従事者 ＝生活支援課2年目ケースワーカーを想定

：「事象(事例)からみる見立て→根拠→手だて→資源」

：医療につなぐことに特化した内容

：事例疾患の選定及び事例の詳細決定。事例掲載方法・様式検討。

：ケースワーカーヒアリング実施について

→「支援者のためのガイドマップ～精神科医療編～」お披露目に向けて活動中

- ・精神科救急医療と地域福祉との連携について

：単科病院に複合疾患(精神科と一般科)を患う方が受診する場合があります身体疾患を診られる医療機関との連携が重要であるとの課題も抽出される

：救急を含む医療機関と福祉従事者の連携とは何か。長期入院患者の地域移行の方策、精神科病院の構造の認識不足があり、勉強会をしてはどうか、一般診療科の病院や他のMSWにも必要な知識なのでは。

：「連携」のイメージが部会員で異なり、身体科救急との連携、病院と病院、病院と診療所の連携についての定義づけを部会にて行っていきたい。

→顔つなぎの一つとしてガイドマップのお披露目会を開催し、そこに関係機関を呼んではどうか

- ・ 障害者の災害対策（啓発活動）

地域生活支援部会にて実施していた啓発活動の継続について協議

：中学生を対象とし周知する機会は非常に大切で重要であるが、今の部会の活動の中で、同時に活動できていくものなのか、検討していくこととなる。

#### 【評価と課題】

- ・ ガイドマップについては、相談支援に従事する者にとって役立つものにしたく、現場の意見を聞きながら作成している過程である。誰にも役立つものにしていきたい。完成のめどを3月としていたが、内容の精査等も必要であり、完成時期を延ばす必要がでてきた。今後、部会の中で再度完成の時期等を検討していく必要がある。また、完成し配布した後にモニタリングをどう行っていくかその方法等についても模索していく必要がある。
- ・ 総合防災訓練への参加については、貴重な機会のため、続けていきたいが、部会の活動との兼ね合いをみて検討していく。

#### 【計画目標】

- ・ 支援者のためのガイドマップ ～ 精神科医療編 ～
- ・ 障害者の災害対策（啓発活動）